

平成27年11月25日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

総合計画特別委員会

委員長 本田 篤

総合計画特別委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 第二次魚沼市総合計画について
(2) その他

- 2 調査の経過 11月25日に委員会を開催し、上記案件について調査を行った。
第二次魚沼市総合計画基本構想(案)及び前期基本計画(案)に対する魚沼市総合計画審議会の答申、第二次魚沼市総合計画前期基本計画「主要な施策」における成果指標及び第二次魚沼市総合計画(案)について執行部より説明を受け質疑を行った。

総合計画特別委員会会議録

1 調査事件

(1) 第二次魚沼市総合計画について

(2) その他

2 日 時 平成27年11月25日 午後2時

3 場 所 広神庁舎 3階 議場

4 出席委員 大平恭児、富永三千敏、岩井富士夫、志田 貢、佐藤敏雄、岡部計夫、
大平栄治、遠藤徳一、佐藤 肇、関矢孝夫、星野武男、高野甲子雄、
星 吉寛、下村浩延、本田 篤、森島守人、大屋角政、森山英敏
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 渡辺一美

6 説明員 酒井企画政策課長、森山企画政策室長、吉澤係長

7 書 記 小幡議会事務局長、櫻井議会事務局次長

8 経 過

開 会 (14:00)

本田委員長 渡辺委員より欠席の届け出がありましたので報告します。定足数に達して
いますので、ただいまから総合計画特別委員会を開会します。これより議事に入ります。

(1) 第二次魚沼市総合計画について

本田委員長 日程第1、第二次魚沼市総合計画についてを議題とします。本日は、執行部よ
り資料が提出されていますので、説明を受け、質疑を行いたいと思います。

酒井企画政策課長 (「第二次魚沼市総合計画基本構想(案)及び前期基本計画(案)
について(答申)」、「第二次魚沼市総合計画前期基本計画「主要な施策」成果指標(修正
後)」、「第二次魚沼市総合計画(案)(字句等の修正)」により説明)

本田委員長 これから質疑を行います。まず、審議会の答申について質疑はありませんか。

遠藤委員 (3)魚沼市ビジョン及びまち・ひと・しごと総合戦略の連携ということであり、
予算的には5年以内ということであるんですけども、来る見込みはどんな感じでしょう
か。

酒井企画政策課長 国から明確な方針は来ておりませんが、今回交付金ということでは

100%にはなりませんけれども来る見込みでおります。

本田委員長　ほかにありませんか。(なし) 次に、成果指標について質疑はありませんか。

関矢委員　公共交通の見直しをされておりますけれども、年間1,200人程度の増加を見込み28,000人を目標に修正されておりますが、前回、青年会議所の庁舎についての検討会の中で、新しい庁舎ができたのであれば公共交通を整備していただき住民が利用しやすい公共交通、また、職員が公共交通を使って登庁できる庁舎をとというご意見がありました。その辺を考えると、今後、路線だとか時間帯等の見直しは、総合計画の中では考えられているのかどうか、1点お伺いします。

酒井企画政策課長　今回の指標に上げたものについては、乗合タクシーのことでございまして、公共交通については当然やらなければならないと思っております、進めていく予定です。

関矢委員　指標の中の質疑でちょっと外れるんですけれども、今後、実施計画の中では見直されていくとか、検討されていくということでしょうか。

酒井企画政策課長　今現在、次の公共交通の計画を策定中でございます。それをさらにやりながら見直しを含めて順次よくなるように進めていきたいと思っております。結果はまだ言えませんが、見直しを行う予定であります。

佐藤(肇)委員　14ページあたりにいろいろ出ております評価のことですが、アンケート調査の回答で満足とかそういった回答を求め、それが75%以上になることを目標とするというような書き方で出されております。なかなかこういった考え方といいますか、感じ方を数字に表すというのは、非常に難しいと思ひまして、私もこのアンケートの指標というのはある程度こういう形で取り上げていいんじゃないかとは思ひますが、ただ、同じアンケートを実施しないと、なかなか同じ結果が得られないということ。NHKのアンケート調査などでは、設問を常に一定にしてアンケートされておりますが、市の場合もこういった調査については、5年おきとか3年おきに実施する場合は、同じ設問でやられているんですか。

酒井企画政策課長　第一次総合計画をつくるときのアンケートと今回第二次をつくるときのアンケートについては、全てが同じではありませんけれども共通項目をつくりまして比較できるようにしております。それについては、今おっしゃったように比較できる項目は必要だと思っております。

佐藤(肇)委員　同じ内容の設問を用意するということではわかるんですが、語句の使い方でずとか聞き方もそれぞれ同じでないと、なかなか同じ評価ということにはならないのではないかと。やはり、こういったのをこれから何年おきという形で指標を取っていくということになった場合は、あらかじめきちんとしたものをつくっておくということが必要だろうと思ひますが、いかがでしょうか。

酒井企画政策課長　必要なことと思ひますので十分検討させていただきます。

遠藤委員　網かけ以外のところに載っているかもわかりませんが、きのう環境課長の話の中でカーボンオフセットの認証を取得したという話がありましたが、これからの低炭素社会あるいはカーボンオフセットの関係が、こちらに載っているかどうか、確認させてください。

酒井企画政策課長　指標については、それぞれの項で1つ以上ということにしておりますので、今回の指標の中にはカーボンオフセットについては記載がございません。目標値とし

て今は上げていないということです。

遠藤委員　きのう足立区との交流があった中で何とか買ってもらいたいようなお話があったわけであります。向こう 10 年間の目標というわけでありますので、やはりその辺もし方向性が出ているならば、目標値として上げるべきではないかと私は思うんですが、いかがですか。

酒井企画政策課長　先ほど申し上げましたように、それぞれのところ全部を上げるわけにはいきませんので、今回は各項において 1 つ以上ということで作っておりますし、今言われたことについては、環境基本計画の中で目標値として上げているはずでありますので、そちらで見ていただきたいということでもあります。

大平(恭)委員　佐藤委員と同じ部分なんですけど、市民との協働、市民参画の推進等で 6 カ所、75%以上という高いハードルを科しています。これについて、議論の経過の中で前回の数字をもとに、確か前回は 5%上積みの部分で、これでは低いという判断だと思っておりますけど、かなり高いのではないかとと思うんですが、議論の中でもっと 4分の3ではなくて、例えば半分以上だとかいろんな議論があったんじゃないかと思うんですが、そこら辺の経過でお聞かせできることがあれば聞かせていただきたいと思います。

酒井企画政策課長　前回はかなり低い数値が上がっていたわけでございますし、高いもので 56%や 65%もありました。そういう中で、まだまだこの特別委員会の中では目標が低すぎるのではないかというご指摘をいただきました。議論の中では、50%という話もありましたけれども、やっぱりやる以上は 50 ではなく理解度を深めるにはもう少し高い設定が必要だということで、今回は全て 75%ということで設定しております。ハードルが高いことは十分承知しておりますが、これに向かって取り組むようにするものでございます。

森山委員　どう理由によるのかちょっとお聞かせ願いたいんですが、12 ページの小中学校の大規模改修、対象棟数から小出小の第 2 体育館を外したという理由をお願いします。

酒井企画政策課長　小出小学校第 2 体育館については、教育施設でなくなったということで、この教育関係のところのものから外したということでもあります。

森山委員　教育施設から外れたことは理解できましたが、第 2 体育館は災害時には避難所としての活用が見込まれるような気がするんですが、その方向での改修は考えないのですか。

酒井企画政策課長　教育施設から外したということで、今回の建物の大規模改修からは外しました。今年度策定しております公共施設等総合管理計画の中におきまして、総合的に見て改修が必要なのか、壊したほうがいいのかを含めてこれから検討していくということでもあります。

本田委員長　ほかにありませんか。(なし)次に、第二次魚沼市総合計画(案)について質疑はありませんか。(なし)なければ、これで質疑を終わります。本件につきましては、本日は以上とさせていただきます。

(2) その他

本田委員長　日程第 2、その他を議題とします。執行部から報告事項等はありませんか。

酒井企画政策課長　今回の基本構想につきましては、予定どおり 12 月定例会に議案として提出させていただきますので、よろしくをお願いします。

本田委員長　委員の皆さんから意見、協議事項等はありませんか。

関矢委員　12月定例会に基本構想が提案されるということですが、その後になるかと思いますが、実施計画の策定の工程がわかりましたらお聞かせ願えればと思います。

酒井企画政策課長　今、実施計画のシートを作成、提出してもらっておりますし、今回の予算の策定に合わせて進めていくこととなりますので、そのようにご理解いただきたいと思っております。

関矢委員　この特別委員会がいつまであるのかわかりませんが、実施計画の素案といえますか、その辺は我々の委員会のほうに出されてくるのか、それとも各常任委員会で審議するのか、執行部のほうはどのように考えていますか。

酒井企画政策課長　実施計画イコール予算がつく事業になっておりますので、先ほど申し上げましたように予算審議の中で見ていただいて、そのものが出るということになりますし、3年間のローリングをしておりますので、それについては予算の審議が終わった後にお示しするという形になると思いますので、よろしくお願いたします。実施計画については、ローリング方式になっておりますので、見直しを行っていくという考えであります。

森山委員　ちょっと外れるかもしれませんが、当初確か新小出病院の隣に保健福祉センターを整備する話があったと思うんですが、それがどうも最近立ち消えになったという情報を小耳に挟んだんですが、その辺について当局が情報がありましたらお願いします。

酒井企画政策課長　新病院をつくったわけでありまして、庁舎の再編もございまして、できれば庁舎についての一本化を図る中では、これまで医療福祉保健分野については病院の近くにつくるという話でしたが、そうすると職員も分かれてしまうこととなります。そうすると、一体で進めております庁舎再編がちょっと後戻りする格好になりますので、この度庁舎のほうに一本化を図りまして、今のところ小出病院付近の一体施設については、白紙に戻したということで進めているのが実情でございます。

森山委員　小出病院近くを白紙に戻したということで、それにかわるべき機能は新庁舎の中に組み込むという考え方でしょうか。

酒井企画政策課長　相談業務等は当然そこで一本化できることになっておりますし、主には健診、健康教室業務がメインになっていたと思っておりますけれども、それらについては今の基本計画にありますように、市民と一体に使うコンベンションホール等を含めて利用を兼ねていきたいと考えております。

森山委員　そうすると、特定健診などをする場所をつくるものだと認識していたんですが、そういったものは今と同じようにいろいろな施設でやるということになるんですか。

大平市長　おっしゃるとおり、最初は小出病院の東病棟が解体された後、そこに保健福祉ゾーンとして保健福祉部門を持ってこようという構想がありましたけれども、先ほど課長が申し上げたとおり、その構想を今、白紙に戻しました。健診部門は今までどおりという考え方でおります。福祉ゾーンについては、新しい庁舎の中に機能を持ってくる。隣接しているという意味から、それが望ましいのではないかと今の考え方であります。

遠藤委員　その他ですが、見逃したところがありましてよろしいですか。指標の4ページになりますけれども、空き家バンクの登録件数ということで総合計画に載っておりますが、これは、空き家バンクに取り組んでいるという話は聞いておりましたが、正式に予算化あるいは条例化等の提案が所管に話があるということではよろしいですか。

酒井企画政策課長　空き家バンクについては、今、仕組みづくりをしているところです。早いうちに宅建協会等との協定を結ぶ中で進めていきたいと思っておりますし、28年度予算についても検討しているところでございます。

本田委員長　ほかにありませんか。(なし) なければ、その他を終わります。本日の会議録の作成については委員長に一任願います。これで総合計画特別委員会を閉会します。

閉　　会（14：32）